

はい！

やくも町議会です

第 63 号

令和元年11月

編集／議会広報広聴常任委員会



映像配信中！YouTube
「八雲町議会」で検索



みんな仲良し……………（はまなす保育園）

撮影：牧野議員

主な内容

	ページ
○平成30年度決算審査（決算特別委員会）……………	②
○6名の議員が町政を問う（一般質問）……………	⑥
○議件・賛否一覧他（定例会・臨時会）……………	⑫
○議会報告会……………	⑭
○常任委員会の活動（所管課報告）……………	⑮
○八雲をたべＹＯ！実行委員会（耳をすまして）……………	⑱



ホームページアドレス <http://www.town.yakumo.lg.jp>

町民の幸せに つながったか？

H30年度 決算審査

※主な質疑を抜粋しました。

【総務費】

Q ふるさと納税の事務費（委託料）に10億7千万円は、かかり過ぎではないか。経費を抑えることはできないのか？（佐藤）

A より低く抑えられるように工夫する。（課長）

Q 特定政策調査検討業務事業のブドウ試験栽培の具体的な内容は？（赤井）

A 旧蔵野小学校跡地を利用し、昨年5月連休明けに赤2種類、白2種類の5本ずつ20本を試験的に植えた。今年も追加の補植を行った。昨年6月から7月は低温長雨



よこた 喜世志 委員長

だったため、収穫は良くなかったが、今年は順調に育っている。（課長）

Q 将来的にはワイン造りにつながる可能性はあるのか？（赤井）

A 今は1件の農家が協力してくれているが、今後、協力者も増える予定なので、10年後を目指し進めていきたい。（町長）

Q 10年後を目指すなら、もっと内容を公表すべきでは？（三澤）

A まだまだ結果が出る段階ではないので、公表できる段階になったら発信する。（町長）

Q 合併後、初の新年交礼会だったが、どのように総括しているのか？（三澤）

A 1月8日の午後開催した。159名の参加だったが、もう少し多くの参加を期待していた。周知が12月広報の1回のみだったので、少なくとも11月、12月の2回は広報に掲載したい。次回も「はぴあ八雲」で立食形式などで、出席者が動きやすいように工夫し、開催時間も2次会に流れやすいように、

う、夜に開催することを考えている。（課長）



Q 新幹線のトンネルから出る要対策土の処分地は、八雲町内にあるのか？（大久保）

A 鉄道運輸機構から町に受入地を紹介してほしいと要請があり、探している。環境不安等から、いままでは候補地が選定できずにいた。民有地であれば、将来の管理に不安があることから、町有地で受け入れる方針。引き続き、鉄道運輸機構と協力しながら、探していく。（室長）

【民生費】

Q 熊石地域における学童保育について、「父母からの要請がないから」という認識のまま、需要調査もしていないのではないかと。（田中）

A 八雲地域並みの整備は、人材確保や費用の面でも難しいと判断している。平成30年度から、くまいし館（管理人が常駐）で月に10人程度だが、安心して過ごせる環境を提供している。（課長）

Q くまいし館の活用をPRしているのか？（三澤）

A 熊石総合支所には、くまいし館の使い方方を明記しているのですが、案内はしていない。（課長）

Q 福祉タクシー事業について、80歳以上の町民税非課税世帯を対象に、年間7千2百円の福祉タクシーチケットが出ている。そろそろ年齢を引き下げるか、金額を上げること考えても良いのではないかと。（佐藤）



みやもと まさはる 副委員長 宮本 雅晴

A 金額の見直しは考えていない。（課長）

Q 年間7千2百円だと、一ヶ月6百円だ。バス片道で390円、往復では780円、それよりも低い。遠隔地では往復もできない。料金を増やすべきでは？（牧野）

A 確かに地域格差はある。しかし、公共交通の協議を、今年、始めたばかりなので、福祉タクシーとは別の観点で考えたい。（町長）



【衛生費】

Q 各種がん検診の受診率が低いままだが、アクションを起こさないと数字が上がらないのでは？（三澤）

A 健康管理は自らの意思でやるべきことと考えている。受けたくない人に「受けてください」と、引ッ張っていくのは違うのではないかと考える。（町長）

【労働費・商工費】

Q 産業人材確保・育成事業（リプモ事業）の成果は？（赤井）

A リプモ事業は4ヶ年の最終年度となる。この事業で目指してきたものは、八雲町の産業界を担う人材の確保と育成。この春から、その事業をトータルマネージメントする組織を株式会社として設立する準備をしている。新規就農者のための家賃補助や、奨学金返済のための補助、研修牧場の創設にもつながっていった。（課長）

Q この4年間の取組みの結果、研修牧場や商工関係の株式会社へとつながったのか？（赤井）

A そのとおり。ただ、担い手確保については、これで終わりではなく、今後も産業部門と共に研究が必要。（課長）

Q 町が出資して、二つの株式会社を作るという意見は、産業連携促進協議会から出たものなのか？（赤井）

A 協議会として結論付けたものではなく、町の政策判断。しかし、こうしたものが必要という意見は、産業界と意見が一致している。（課長）



雇用確保は急務！

Q 4年間で、人材確保はどれくらい実現したのか？（赤井）

A この事業の中で、人材を確保していくのが目的ではなく、どのように進めて行くかを議論する。実態のシミュレートとして協力隊を雇い、空き店舗を利用して、様々なビジネスを考えさせ、教育を施してきた。（課長）

Q リプモ事業が立ち上がったなら、雇用が生まれると思っていた。4年間、国のお金を使って話し合った結果、町が出資して株式会社を作り、町長が社長になるということなら、もっと早くからやった方が手っ取り早かったのでは。この4年間の時間と予算は、もっとうまく活用できたのではないのか？（赤井）

A リプモ事業には大きな期待をしていたが、なかなかうまくいかず、大きな反省が必要。たくさんの反省もあるが、学んだことも多いので、今後それらを活かして、ステップアップしていく。（町長）

【農林水産費】

Q 地域バイオマス産業推進事業の状況と今後は？（赤井）

A 平成29年度は畜産農家の意向調査を行った。平成30年度は、売電、自分で活用、熱利用などいろいろシミュレーションしている。八雲町ではすでに大型農家を取り

組んでいるが、家族経営の農家においても費用対効果も検討し、令和元年は国のバイオマス産業都市構想の取得を目指している。取得することで有利な補助金も得られる。（課長）

Q 今後、農家の賛同があれば、糞尿は電気や熱に利用できる形になるのか？（赤井）

A 農家の意向が何よりも大切。糞尿処理の費用対効果を考えながら、より有効に活用し、環境にも配慮できるよう取り組んでいく。（課長）



Q ウニの深浅移植事業の平成30年度の様子は？（赤井）

A 当初、6万8千個の移植を計画していたが、長雨や時化のため海が濁っていて、最終的に4千5百個しか移植できなかった。（課長）

Q 漁家の数が減っているためではなく、時化のための結果か？（赤井）

A 漁家も減っているが、海が濁っていて、ダイバーも潜っていけなかった。今後、この事業は縮小を考えている。（課長）

Q ウニ深浅移植事業について、年々、事業規模、決算実績が減っている。荒天だけが理由ではないと思う。部会の中で熱意に差があ

り、漁に出る出ないの判断に積極性が見られなくなっているのではない。部会への補助では、熱意のある青年たちのやる気を削ぐのでは？（三澤）

A やる気を持たせ、産業として育てる方向で考えていきたい。（課長）

Q 自分たちのものを自分たちで売りさばく動きもとても大切。部会にのみ目を奪われては、大切な芽を摘んでしまうのでは。やる気のある人を育てて行ってほしい。（三澤）

A この事業に関わらず、若者のやる気を大切に、最善の方法を尽くしていく。（課長）

ウニ^{しんせん}深浅移植事業

深水域（10m以上）の未利用ウニを浅海域に移植し、養殖する事業。

事業主体：熊石磯廻り部会（代表）

事業費：204万円

（町が1／2を負担）

Q 町有林森林認証事業の狙いとメリットは？（大久保）

A S G E Cという国際認証基準の認証を平成29年度から取得している。現在は、認証をうけているからといって、明確な値段の違いはないが、輸入材については、国際認証がなければ輸入できなくなっている。今後の木材流通のスタンダードになっていく。町有林で認証取得できる所は、すべて取得済みであり、民有林についても取得を推奨していく。（課長）

【土木費】

Q 空き家対策事業の支出がないが、PR不足や、情報共有の不足が原因では？（三澤）

A 始まったばかりの事業で認知度が低かった。町のホームページ等でPRしながら、制度の熟成を図っていきたい。参考として令和元年度は、空き家解体支援、子育て支援用改修事業ともに申請を頂いている。（課長）

【教育費】

Q 農漁商工業後継者養成補助金について、対象者を把握したうえでの予算（大学生2人、高校生2人）であったかと思うが、決算では大学生1名分となっている。どういうことか？（三澤）

A 平成30年度は1名に貸付けをした。予算では、入学後の申請も見込んで計上している。（課長）

【歳入】

Q 基金が86億円も積み上げられている。国からの交付税が減額される恐れはないのか？（田中）

A 確かに、使途が明確ではない財政調整基金の残高は国も注視している。10億円を目途としている。しかし、他の取り崩し可能な基金の残高は74億円となっている。（町長）

【病院事業会計】

Q 経営改善は進んでいるのか？（牧野）

A 人口減少など、地域医療を取り巻く経営環境は厳しい状況にある。現在委託している経営改善アドバイザリーにより、今後、数年で改善が見られるように取り組んでいる。（事務長）

Q 医師確保はどのようになっているのか？（牧野）

A 地域医療の充実を図るために、医師の確保は、極めて重要な課題である。大学と関係機関、団体等と連携し、お願いしている。（事務長）



基金の状況

単位：千円

区 分	H30年度末現在高
財 政 調 整 基 金	1,026,430
減 債 基 金	544,214
特 定 目 的 基 金	6,678,225
公 共 施 設 整 備 基 金	1,208,298
ま ち づ く り 振 興 基 金	122,508
中山間ふるさと・水と土保全基金	5,324
地 域 福 祉 基 金	301,886
ふ る さ と 振 興 基 金	80,424
地 域 振 興 基 金	1,100,000
ふ る さ と 応 援 基 金	3,859,785
小 計	8,248,869
定 額 運 用 基 金（現金）	228,071
土 地 開 発 基 金（現金）	163,633
奨 学 基 金（現金）	64,438
国 民 健 康 保 険 事 業 基 金	0
介 護 給 付 費 準 備 基 金	103,076
農 業 集 落 排 水 事 業 償 還 基 金	32,789
合 計	8,612,805

一般質問

町政を問う！

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

みやもと 宮本
まさはる 雅晴 議員

Q 火葬場へ冷房設備を

A 施設の改修・改築を考える

問 八雲町の斎場は、待合室のホール、和室、炉前のホールが、とても暑い。収骨場は熱で更に暑い状況である。函館や七飯はオールエアコンになっている。最後の

お別れをする場所であるので、環境設備を整え、八雲斎場と熊石斎場も一日も早くオールエアコン化するべきと考える。町長の考えを伺う。

八雲斎場は昭和62年に供用開始されてから32年が経過し、損傷の進行しやすい火葬炉については、計画的に老朽化対策として修繕計画を立て、施設の延命化を図っている。今年7月には奥の和室にエアコンを設置した。熊石斎場は平成19年に整備したが、エアコンは設置していない。

町長

昨年の斎場利用状況は、八雲斎場216件、熊石斎場が53件となっており、エアコンが必要と見込まれる7月、8月の利用は、八雲斎場27件で、熊石斎場は8件となっている。



町民からの要望は聞いていないが、今後、八雲斎場と併せて、必要があればエアコンの整備を考える。火葬炉も老朽化しており、早急には言えないが、財政的なことも踏まえ、改築も考える。



Q

ハラスメント規制法を基に条例を作るべき！

A

国や近隣自治体の動向を見ながら考える

質問要旨

職場のハラスメント対策を目的とする「女性活躍・ハラスメント規制法」が成立した。この法律は、ハラスメントを「行ってはならない！」と明記。

また、パワーハラを「優越的な関係を背景に業務上の必要な範囲を越えた言動で労働者に対する不利益な待遇や取り扱いの禁止」を義務付ける内容となっている。これを踏まえて、八雲町も条例を整えるべき。

いくつかの町長答弁

・色々な場合があり、これですべてを網羅しているとは考えていない。条例を作る事は大切だという



・気はしますけれども・・・。
・ハラスメントは人間関係もある。これから国や近隣町の動向を見ながら考えていく。
・休まれている職員のすべてがパワーハラではない。職員には適材適所で働きやすい部署をと考えている。長くその部署にいても仕方ないとも思っている。

・この指針の活用は足りなかったと反省もあり、しっかりと考えていきたい。多種のハラスメントについて認識をしっかりと持って進め

なければという思いはあるが、上司、同僚、町民と職員など様々な関係があり、変化もする。注意深く見ながら、ハラスメントに対応していきたい。

質問を終えて

八雲町は平成26年4月に施行した「パワーハラメントの防止等に関する指針」

精神的な病気を理由に休んだ職員数

単位：人

年度	休んだ職員	復帰支援
H23	5	1（勤務軽減）
H24	11	1（勤務軽減）
H25	10	1（試し出勤）
「パワーハラスメントの防止等に関する指針」 H26. 4. 1 策定		
H26	11	3（試し出勤）
H27	8	4（試し出勤）
H28	9	1（勤務軽減）
H29	11	1（勤務軽減） 3（試し出勤）
H30	8	1（試し出勤）
R元	3	1（試し出勤）

●復帰支援以外の職員支援

- ①ストレスチェック
- ②産業医との面談
- ③総務課職員との面談
- ④コンプライアンス研修（ハラスメント研修）
- ⑤管理者研修

という内部規則で対応していた。しかし、この指針の適用前と、適用後では「精神的な病気を理由に休んだ職員数」に有効な変化は見られない。この規制法を基にして、すべてのハラスメントへの対応を充実させるべき！と訴えたが、のりくらりと言葉は多いが、「内部で検討する。」以上の言質が得られなかった。

町長は嘉納治五郎翁の「逆らわずして勝つ」を実践されていたのかも。質問席では、もっと冷静に答弁を聞き、詰めていかなければ！と強く反省をした。

おおく ぼけんいち
大久保建一 議員

Q 防犯カメラを設置し、安全なまちを！

A 住民の意見を聞きながら検討する

問 防犯カメラやドライブレコーダーによる事故や犯罪の映像が、ニュース等でよく見られるようになった。その映像は事故処理や示談協議、犯罪の告発や捜査に

町長 防犯カメラには、①犯罪者に犯行を思いとどませる犯罪抑止効果、②その場の利用者に安心感を与える効果、③映像を利用し犯罪捜査へ貢献する効果の三つの効果があるといわれている。また、行方不明者や認知症高齢者の捜索にも期待できる。

質問を終えて 年々減少傾向

にあるとはいえ、この八雲町で毎週のように犯罪が発生しています。また、登下校の児童を狙った不審者の話も、昔からなくなりません。デジタル技術も進歩し、防犯機器も安価になってきている昨今、住民生活の安心と安全には、極めて費用対効果の高いことだと思います。提案しました。町長からは前向きな答弁をいただいたので、今後の進捗を注目していきます。

とても有効であり、その普及率は民間レベルでも上がってきている。また、防犯カメラは、映像記録の保存というだけではなく、その存在を知らしめることが防犯にも有効だという。

八雲町においても、通学路を中心に公共施設前や主要な交差点等に、防犯カメラ設置を進めるべきと考えるが、その考えを伺う。



八雲警察署管内の犯罪発生件数

平成28年	86件（内61件は盗難）
平成29年	66件（内43件は盗難）
平成30年	66件（内38件は盗難）

先進地事例

- ・千葉県市川市では、防犯カメラを市内各所に設置してから、犯罪認知件数が設置前の約1／3に減少した。
- ・大阪府枚方市でも半減した。

さとう ともこ 議員
佐藤 智子

Q がんと共に生きる人の話を聞こう

A 現時点では考えていない

問 今や二人に一人はがんにかかると言われている。がんを抱えながら生活している人の経験を聞く機会があれば、まち全体のがんへの意識が高まるのではないか。

ご本人の承諾を得たうえで講演会や座談会を企画してはどうか。

町長 当町においても死因の第一位は「がん」である。講演会の開催が「がんに対する知識の啓発や、ご本人と家族の心の支援、周囲の理解を促進するひとつの方法にはなるかもしれない。しかし、2ヶ月に一度の「がんサロン」では、「他人に話すのは勇気がいる」、「家族にも心配をかけているので

伝えたくない」、「再発や転移の不安のなかで日々生活している」等の声を聞いている。このような現状から、町から講演を依頼するとは非常に困難だと感じており、現時点では考えていない。

Q 護岸工事の進捗状況は

A 8件中、7件は未着手

問 護岸の老朽化は漁家の悩みの種である。毎年何件の改修要望を、北海道に出しているか。進捗状況も併せて伺う。

町長 護岸の整備については、黒岩、山崎、内浦、栄浜の各1件と、浜松4件の合計8件を要望している。

進捗状況は、浜松の1件が平成22年度より整備が開始され、令和

元年度で73・6%の見込み。他の7件は未着手である。

町としては、北海道に対し、整備の必要性を引き続き要望していく。

Q 国保でも子育て支援を

A 均等割の軽減措置、導入は難しい

問 国保には世帯の人数を算定基礎とする「均等割」がある。世帯の人数が保険税に影響するのは国保だけである。

家族の人数が増えれば負担も増えるのでは、「子育て支援」に逆行するのではないか。「子育て支援」として子どもの均等割減免を検討すべきではないか。

町長 国民健康保険税は世帯の負担能力に応じて賦課する応能割と、受益の程度に応じて賦課する応益割により構成されており、応益割の中でも均等割は被保険者の多い世帯ほど、保険税が加算される仕組みになっている。しかし、均等割の算定では負担能力に応じ

て、所得の低い世帯には保険税を軽減する措置が適用されている。新たに均等割の軽減措置を導入すれば、他の世帯に更なる負担を求めることになり、理解を得ることは難しいと考える。

Q 遊具設置の考え方は

町長 平成30年度は相生公園、かつら児童公園、白樺児童公園の4基の遊具を更新、修繕した。

遊具の移設は、過去に実績はなく検討もしていない。新設は、必要に応じ検討する。



旧あかしや保育園跡に整備された小公園

よこた きよし
横田喜世志 議員

Q スマホの充電器も備えては？

A 備蓄品のひとつとして備える

問 八雲町に被害を及ぼした災害は、地震では「北海道南西沖地震」、「東日本大震災」、「北海道胆振東部地震」で、全国的には毎年、甚大な被害を出している台風や水害など、近年多発している状況である。災害に備えて必要な物品を備蓄しているが、生活様式の変遷により、スマホの充電が必須となってきた。各避難所に配置する発電機と一緒にスマホの充電器を配備することが必要ではないか。

えているスマートフォンは、電池の消費が早く、災害時に充電の需要が高まることは、昨年の胆振東部地震の際に、官民双方で充電場所が設置されたことから明らか。当町としても、必要性は十分認識しており、災害時備蓄品のひとつとして、今年度、一度に複数の充電ケーブルをつなぐことができる電源タップを、予算の範囲内で購入することを検討している。

町長 スマートフォンの保有率は60・9%となっており、電話機能とインターネット接続機能を備



総務課長 当初予算で予定している備品を購入した中で、執行残が既に出ているので、その範囲内で電源タップを調達したいと考えている。今年度、ある程度の数を調達し、不足がある場合は来年度予算に考えている。

議会これからの予定

《11月》	28日	第5回臨時会
《12月》	4日	議会運営委員会
	9日～13日	第4回定例会 会派代表者会議 各常任委員会
	13日	全員協議会

議会を傍聴してみませんか

次の議会は、
令和元年第4回定例会
12月9日（月）午前10時から
開会の予定です。

お気軽に足を運んでみてください。

YouTubeで映像配信もします

Q 町民誰もが安心して過ごせる八雲町に！

A 十分配慮し、丁寧に対応する

問

全国的に少子高齢化・人口減少が進む中、最近の八雲町はUターンの若者や移住者等により、減少カーブが少し穏やかになっている。外国人就労者等も増えつつある中、全ての町民が安心・安全に過ごせる対応が必要。

①八雲町を訪れる外国人のために、案内表記は外国語で行うことも必要では？

②外国人就労者のための相談窓口の明記や紹介が必要では？

③「町民」という言葉に対する解釈の仕方や、各種案内やチラシの表記をわかりやすく丁寧に行う必要があると思うが、町長の考えを伺う。

町長

①外国人宿泊数は1%と規模が小さい。パノラマパークに多言語の観光パンフレットを設置し、観光物産協会のホームページにも多言語で若干紹介しているが、そうしたことにも目を配りたい。

②北海道でも取り組んでいるので、八雲町としても対応が必要。災害時の避難については、町の中にQRコードを使った案内も考えられる。来年から商工観光労政課を中



漁業体験を楽しむ外国人観光客

Q エネルギー地産地消の実現を！

A 様々な可能性を含め、幅広く研究を進める

問

八雲町では、エネルギーの地産地消は十分に可能だと思う。

エネルギーの地産地消は、今まで外へ出ていたお金が、地域を循環するという理想的な仕組みが出来る。町長の公約にもあるので、是非実現すべきだが、実現に向けての課題と可能性は？

町長

自治体新電力については、発電コストの低い独自電源、ま



バイオマス発電

たは電力の確保」、「町内企業や住民の需要の確保」、「それらをビジネスとしてマネジメントする能力や体制」が大きな課題。

ただ、可能性は有るか無しかと問われると、もちろんある。今後、国や道からのいろいろな情報を集めながら、一部地域からでも始めていけるよう考えている。新庁舎等について考えるときも、その辺を十分考慮しながら、施設整備をしていく。

定例会・臨時会議件一覧

令和元年第3回臨時会議件一覧（令和元年7月22日）			
議案第1号	工事請負契約の締結について	議案第2号	工事請負契約の締結について
令和元年第4回臨時会議件一覧（令和元年8月8日）			
議案第1号	工事請負契約の締結について	議案第4号	工事請負契約の締結について
議案第2号	工事請負契約の締結について	議案第5号	令和元年度八雲町一般会計補正予算（第4号）
議案第3号	工事請負契約の締結について	—	—
令和元年第3回定例会（令和元年9月9日～13日）			
認定第1号	平成30年度八雲町一般会計歳入歳出決算認定について	議案第10号	八雲町病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
認定第2号	平成30年度八雲町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第11号	山越郡衛生処理組合の解散について
認定第3号	平成30年度八雲町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	議案第12号	山越郡衛生処理組合理約の変更について
認定第4号	平成30年度八雲町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第13号	令和元年度八雲町一般会計補正予算（第5号）
認定第5号	平成30年度八雲町熊石地域簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第14号	令和元年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
認定第6号	平成30年度八雲町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第15号	令和元年度八雲町病院事業会計補正予算（第1号）
認定第7号	平成30年度八雲町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	同意第1号	八雲町教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて
認定第8号	平成30年度八雲町病院事業会計決算認定について	発委第1号	キャッシュレス社会の実現を求める意見書
認定第9号	平成30年度八雲町水道事業会計決算認定について	発委第2号	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書
議案第1号	八雲町印鑑条例の一部を改正する条例	発議第1号	水産業の体質強化を求める意見書
議案第2号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	発議第2号	プラごみ対策を国に求める意見書
議案第3号	八雲町森林環境譲与税基金条例	発議第3号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書
議案第4号	八雲町消防手数料徴収条例の一部を改正する条例	発議第4号	マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書
議案第5号	八雲町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び八雲町保育の必要性の認定に関する条例の一部を改正する条例	発議第5号	太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書
議案第6号	八雲町大型獣解体処理施設条例	発議第6号	幌延深地層研究計画（案）の撤回を求める意見書
議案第7号	八雲町町営住宅条例の一部を改正する条例	発議第7号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
議案第8号	八雲町給水条例の一部を改正する条例	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書	
議案第9号	八雲町簡易水道設置条例の一部を改正する条例	議員派遣の件	

異議あり！

第3回定例会 賛否一覧（反対のあった議案を掲載）

賛成 ○ 反対 ×

議 件 名	採決結果	関口正博	佐藤智子	横田喜世志	齋藤 實	大久保建一	赤井睦美	三澤公雄	田中 裕	牧野 仁	安藤辰行	宮本雅晴	千葉 隆	黒島竹満	能登谷正人
発議第4号 マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	×	欠	×	×	×	×	×	／
発議第6号 幌延深地層研究計画（案）の撤回を求める意見書	否 決	×	○	○	×	×	○	○	欠	×	×	×	×	×	／

※能登谷 正人議長は賛否同数の場合に、その可否を決定します。

群馬県利根郡町村議長会が視察！



議会基本条例について、群馬県利根郡の1町3村の議長の皆さんが、八雲町議会に視察に訪れました。

これからの議会活動に活かしていくことを目的に、議会基本条例を作るに至った経緯と、その後の取り組みについて話し合いました。

共通の課題として、議員のなり手不足の問題が浮き彫りとなりました。

議会のうごき

《8月》

- 8日 第4回臨時会
役場庁舎等整備調査特別委員会
全員協議会
総務経済常任委員会
文教厚生常任委員会
- 21日～22日 総務経済常任委員会行政視察調査（奥尻町）
- 26日 広報広聴常任委員会

《9月》

- 4日 議会運営委員会
- 9日～13日 第3回定例会
- 9日 会派代表者会議
- 10日～12日 決算特別委員会
- 10日 文教厚生常任委員会
- 11日 総務経済常任委員会
- 12日 役場庁舎等整備調査特別委員会
広報公聴常任委員会
- 13日 全員協議会
議会運営委員会
会派代表者会議
- 20日 総務経済常任委員会

《10月》

- 1日 文教厚生常任委員会
- 8日 議会運営委員会
広報広聴常任委員会
- 9日 渡島檜山管内町村議会議員研修会（北斗市）
- 15日 広報広聴常任委員会
- 25日 役場庁舎等整備調査特別委員会



開催しました！

かせてください～

3会場で40名は少ない！
もっと来てもらわなければ！

八雲会場

7月23日、はぴあ八雲で開催し、19名の皆さまの参加をいただきました。

（議員定数・報酬について）

- 人口約1万6千人で定数16人は良いと思うが、候補者はいるのか。
- 今14人でやっていて、そこから亡くなったら更に減るのだから、減らすことは考えない方がいい。
- 女性議員をどのように増やすか考えるべき。良いアイデアを持っている女性が多いから、そうした女性を入れるべき。
- 人口減少に合わせて、定数も減らしていくべき。
- 報酬に関して議論するなら、もっとしっかりとした資料が必要。
- 今回のように、どんどん町民の意見を吸い上げて、議会で活かしてくれると、誰も報酬を下げろという人はいないはず。



（役場新庁舎について）

- 新幹線が来たら、在来線の特急はどうなるのか。庁舎と共に警察や保健所の移転もあるという話を聞いたが、そうになると町が大きく変わる。そのことに対して詳しい説明がない。

（その他）

- 議会サポーター等を導入して、もっと議会に関心を持ってもらうことが必要。退職した町職員の人たちに協力してもらって是非やるべき。

※主な意見を抜粋しました。

開かれた議会
をめざして

議会報告会

～皆さんの声を聞

熊石会場

7月23日、熊石総合支所で開催し、14名の皆さまの参加をいただきました。

（議会について）

- 欠員が出ていて活動に支障はないか。
- 人口が減ったから定数を減らすのではなく、地域の声を拾い上げることを考えた定数であってほしい。
- 一般の会社員が議員になって活動するなら、今の金額では出来ないだろうと感じる。
- 報酬と定数は別々に考えるべき。なり手不足は環境整備の問題。
- 議会として、熊石地域を発展させられるという思いはあるか。
- 議会の映像配信、メリットはあったか。

（地域の要望）

- 地域バス、あるいは福祉バスを導入できないか。
- 新しくできる保育所に学童機能を持たせることはできるか。
- 町道の状態を見て、現状を知ってほしい。
- 国保病院は、地域や町民から信頼される病院づくりを。規模の適正化と共に、町民の命を守るためにどうするのか考えることが大事だと思う。

落部会場

7月23日、落部レクセンターで開催し、7名の皆さまの参加をいただきました。



（議員定数・報酬について）

- 議員定数は今のままで、報酬は引き上げてもいいのではないかと。

（新庁舎について）

- 3か所の視察は、こういったものか。それらの視察に基づいて、新庁舎設立はどのような規模で、どのようになっていくのか。

（公共交通について）

- 病院関係で巡回バスがあれば良いと思う。バス停まで歩くのも大変。

常任委員会 の活動

令和元年8月から10月の
各常任委員会の活動です。

総務経済

所管各課から報告を受けた中で
主なものをお知らせします。

●固定資産税における新築牛舎の
今後の課税方針について(財務課)

これまで、町の認定基準で、固
定資産上の「家屋」ではなく、「償
却資産」と認定した牛舎について
は、北海道において不動産取得税
を課税できなかった。令和元年5
月に、渡島総合振興局より、不動

産取得税において、道認定基準を
参考に牛舎を判定するよう、町に
要請された。今後は、令和2年1
月以降の新築牛舎より、道認定基
準に準拠し、「家屋」の判定を行う。
●落部さけ・ます養殖事業の再構
築について(水産課)

今年度の施策事業であるが、地
下水開発が極めて困難となったこ
とから、今年度からの事業展開は
取りやめ、事業の再構築を検討す
る。

●八雲地域サーモン養殖試験事業
の実施について(水産課)
漁業経営の安定並びに、地域の
活性化を図ることを目的に、八雲
町と落部漁協が共同でサーモンの
海中養殖を実施する。

八雲地域サーモン養殖試験に係る費用

施設整備費用	4,190千円
種苗代	814千円
餌料購入費	147千円
その他 (海水馴致費用等)	1,275千円
合 計	6,426千円

八雲地域サーモン養殖試験事業の概要

施設規模	10m鋼管枠イケス
魚種及び数量	トラウトサーモン 300尾
種苗、成魚の大きさ	種苗 0.8kg/尾 成魚 3.0kg/尾 (目標サイズ)
養殖試験の実施者	落部漁業協同組合 青年部

八雲地域サーモン養殖試験スケジュール

令和 元年	9月	10月	11月	12月	令和 2年	1月～5月	6月～9月
	イケス整備・設置 養殖試験準備		種苗搬入 馴致作業	飼育開始		飼育・環境調査 生物測定	生存率・増重率調査 試験結果まとめ

文教厚生

所管各課から報告を受けた中で、主なものをお知らせします。

【保健福祉課】

1 高齢者等除雪費助成金交付事業について

年 度	平成30年度		令和元年度		比 較	
区 分	生保	生保以外	生保	生保以外	生保	生保以外
除雪料金	1,100円	1,100円	1,600円	1,600円	500円	500円
助成金	825円	550円	1,200円	800円	375円	250円
利用者負担	275円	550円	400円	800円	125円	250円

《対象者》 概ね65歳以上の者、または心身障がい者であって、身体の虚弱や障がいのために除雪が困難で、かつ、協力者の確保ができないもの

《除雪の実施方法》 15cm以上の降雪量で、除雪範囲は自宅玄関から直近の公道までの通路を確保し、1回に要する時間は30分以内で、1日2回を限度とする

《助成対象経費》町が業務契約を締結した事業者に対して支払いをした除雪料金。

《助成率》生活保護世帯は4分の3、生活保護以外の世帯は2分の1。

《対象期間》11月1日～3月31日。



2 八雲居宅介護支援事業所の廃止について

《廃止の理由》介護保険法の改正により19年4月に地域包括支援センターが設置され、軽度の支援がそちらに移行されたことにより、利用者が減少した。また、介護予防に重点が置かれ、居宅介護支援事業所の管理者に主任介護支援専門員を置かなければならなくなりましたが、有資格者が不在のため、3月31日で廃止。

【環境水道課】 山越郡衛生処理組合し尿処理費の改正について

区 分	改正前	改正後
50ℓ券	240円	245円
100ℓ券	480円	490円
200ℓ券	960円	980円
500ℓ券	2,400円	2,450円
1,000ℓ券	4,800円	4,900円

【住民サービス課】 熊石地域のごみ処理手数料・し尿及び浄化槽汚泥処理手数料の改正について

区 分	改正前	改正後
燃やせるゴミ袋（大）	108円	110円
燃やせないゴミ袋（大）	108円	110円
燃やせるゴミ袋（中）	54円	55円
燃やせないゴミ袋（中）	54円	55円
燃やせるゴミ袋（小）	32円	33円
粗大ごみ処理券	108円	110円
小動物焼却手数料	2,160円	2,200円
し尿及び浄化槽汚泥処理手数料100ℓまで	610円	620円
100ℓを超えて10ℓ増すごとに	61円	62円

中頓別町議会の皆様が視察に！

4年前に行った「地域医療セミナー」の調査のため、10月3日、中頓別町議会の皆様が、はるばる八雲まで視察にいらつしやいました。地域医療の取組みについて、お互いの町の情報交換をし、今後の取組みについて、熱く語り合いました。どこの町も少子高齢化による人口減少、医師確保に苦戦していますが、情報共有しながら、あきらめずに連携して対応していくことが大切だと実感しました。



